

[発行] レイカディア大学同窓会大津支部

<http://lacadia-dousoukai.com/>

目次

2

月日の経つのは早いもの
(奥田副支部長)

4

平成29年度
レイカ大津の集い報告



38期新入会員の方々の紹介

6

生涯学習フェスティバルに参加
本部主催地域活動事例発表会など

9

新入会員投稿

21

わが町の歴史(坂本)

13

部会だより
健康部・文化部
研修部・地域活動部

23

会員投稿 エッセイ・俳句・川柳

28

会員動向・編集後記

主 な 行 事

➤ 新年会のご案内

日 時: 2月5日(月) 12時~14時30分

場 所: 元祖・船の館 びわこの干松

*詳しくは3頁参照

➤ レイカディア大学必修講座聴講

日 時: 1月26日(金) 13時~15時

場 所: レイカディア大学草津校 大教室

*人数制限有り、1月10日(水)申込み締切り。詳しくは22頁参照

月日が経つのは早いもので

副支部長(比叡地域担当) 奥田 耕治(33 期 園芸・志賀)

月日が経つのは早いもので、近頃は頓にその速さを痛感するようになりました。この時期になるといつも思い浮かべる言葉(文章)があります。皆様もよくご存じの「少年老い易く学成り難し・・・階前の梧葉すでに秋声」。うかうかと暮らしていて気が付いたら庭先の青桐の葉はすでに秋の色になっている、という内容です。朱子の「偶成」という漢文ですが(諸説あり)自分の人生と照らし合わせて、今、葉の色は秋の色どころか落葉寸前なのに悔い改めもせず、また、その意欲もなく恐らくはのんびんだらりと、生の果てるまで過ごすのだらうと身震いしている昨今です。

にもかかわらず広報部から巻頭文を寄稿せよとの厳命で、少しは読者の皆様に役に立つような話題がないかと小さな胸を痛めておりました。そこで人から聞いた話をご披露したいと思います。

年末ともなると多くの皆様におかれましてはクリスマスにはキリストの生誕を祝い、大晦日は除夜の鐘で煩惱を払い落す敬虔な仏教徒になり、年が明けると神社に今年1年の安寧を願いに初詣に行くという目まぐるしくかつ平然と宗旨替えをされることになります。当然、神社仏閣にお参りに行かれるとお賽銭を投じて色々な願い事をされると思います。「家内安全」「病氣平癒」等々。その時にどのようなお参りの仕方をされるのでしょうか。これから記すことはくどいようですが、私があくまで人に聞いた話だということを承知の上でお読みいただければ幸甚です。

何年か前に33期のフォトウォークで奈良に行った際、春日大社に詣でました。ボランティアガイドさんの話では「二礼二拍手一礼で作法通りお参りして、その間に願い事を念じて終わり」では神様から言えば「よくぞ参られた、あんたの願い事はわかったのでかなえて進ぜよう、ところであんたはどこの誰?」。なんでもお見通しのはずの神様だって忙しいのです。まして初詣ともなると何十何百万もの参拝者が居れば大変です。「願い事の後に必ず住所、氏名、年齢と電話番号までは必要なかったかもしれないが、個人情報のことでもあるので声を出さずに念じると願いが叶うはずです」とのこと。

由緒正しい春日大社のボランティアガイドさんの話だから間違いはなかろうと、以来、私は我が身だけの安寧と孫たちの健やかな成長を、ついでに年末ジャンボの当選を、私は勿論のこと孫の住所、氏名、年齢を念じて真剣にお願いしております。お陰さまで年末ジャンボはともかく4人の男の子ばかりの孫たちはすくすくと育ち喜んでいる次第ですが、何分わずかなお賽銭で身の程知らずの願い事をしているため結構時間がかかります。どこの神社仏閣においても神様や仏様の前にたたずんで、真剣に祈っている私の姿が友人たちから見れば信心深い姿に見えるようです。皆様もぜひ試していただければと思っています。ただし皆様の願い事の霊驗について当方は一切責任を負いません。

あ、そうか、毎年年末ジャンボの当選のお願いをするものの何番の宝くじを買ったのか神様にお知らせしていなかった。こりゃ300円しか当たらんのも道理だわ。今年こそ。

第13回新年会のご案内

新年会実行委員会

恒例となりましたレイカディア大学同窓会大津支部の新年会を下記内容で行いますので
お誘いあわせの上、奮ってご参加下さい。今年も「びわこの千松」で開催します。

記

日時 平成30年2月5日(月) 12時～14時30分
受付開始 11時30分～

場所 元祖・船の館 びわこの千松
〒525-0067 草津市新浜 297-1 TEL: 077-565-8800

送迎バス JR大津京駅 11時15分出発
JR石山駅北口 11時15分出発
(両駅とも11時に現地にて実行委員がお待ちして
います)

会費等 5,500円(当日受付にて申し受けます。お釣りのないようお願いします)
申込締切日 平成30年1月16日
*申し込み後、都合がつかなくなった方は速やかに連絡ください。
2月2日までに連絡なき場合は会費を申し受けますのでご注意ください。

申込み先 別紙の申込み票にてFAX、または手渡しで各地域の新年会実行委員あてに
連絡ください。

★比叡地域 岸 研治(36期 地文) TEL・FAX: 594-5378
★中央地域 清水 初美(33期 陶芸) TEL・FAX: 522-6412
★石山地域 近藤 修(35期 園芸) TEL・FAX: 546-2069
★瀬田地域 上野 正男(34期 地文) TEL・FAX: 545-2671
又は、メールにて比叡地域 福井(k_f1231@ybb.ne.jp) まで



「新

入会

員歓迎会&レイカ大津の集い」報告

実行委員長 清水 雅文(36期 地文・皇子山)

懸念された台風も去った10月24日、大津市生涯学習センターで「新入会員歓迎会&レイカ大津の集い」を開催しました。皆様の御協力で大勢の会員に参加を頂き盛大な会にすることが出来ました。心よりお礼申し上げます。

今回、実行委員会は「新入会員歓迎会&レイカ大津の集い」への参加の呼び掛けを積極的に展開しました。その結果100名超の会員の参加が有りました。また、特に地域懇談会に重きを置き、各副支部長が創意工夫をして各地域で特色のある地域懇談会になるように努めていただきました。新入会員にはサポート役を設けて、今後の同窓会活動に積極的に参加出来るようにフォローしてもらいました。

結果と今後への課題について報告します。

1) 概要

日時：平成29年10月24日(火)13時～16時

会場：大津市生涯学習センター大ホール

内容：①開会の言葉 ②レイカディア賛歌斉唱
③支部長挨拶 ④来賓紹介 ⑤新入会員
紹介、執行役員紹介 ⑥大津支部事業活動紹介 ⑦展示・体験コーナー紹介、体験参加
⑧地域懇談会 ⑨リフレッシュ体操 ⑩地域対抗ゲーム
⑪「○×」クイズ ⑫「琵琶湖周航の歌」合唱 ⑬一本締め ⑭閉会の言葉



全員で「琵琶湖周航の歌」を合唱



地域対抗ゲーム

2) 参加者

106名（新入会員21名、既会員81名、ゲスト1名、来賓3名）、新入会員78%（27名中21名） 既会員36%（222名中81名）

3) 課題

行事内容はアンケート結果からも概ね良とする意見が多かったが、個々の行事については、もう少し検討を加えて、極力マンネリに陥らないように活性化していかなければならない。

最大の課題は参加者の増加を如何にして実現するかである。今回、実行委員会では参加者増に向けて積極的に役員の皆様に働きかけて来ましたが、なかなか数字は伸びませんでした。「参加お願いします」だけでなく、抜本的な対策が必要とされる。

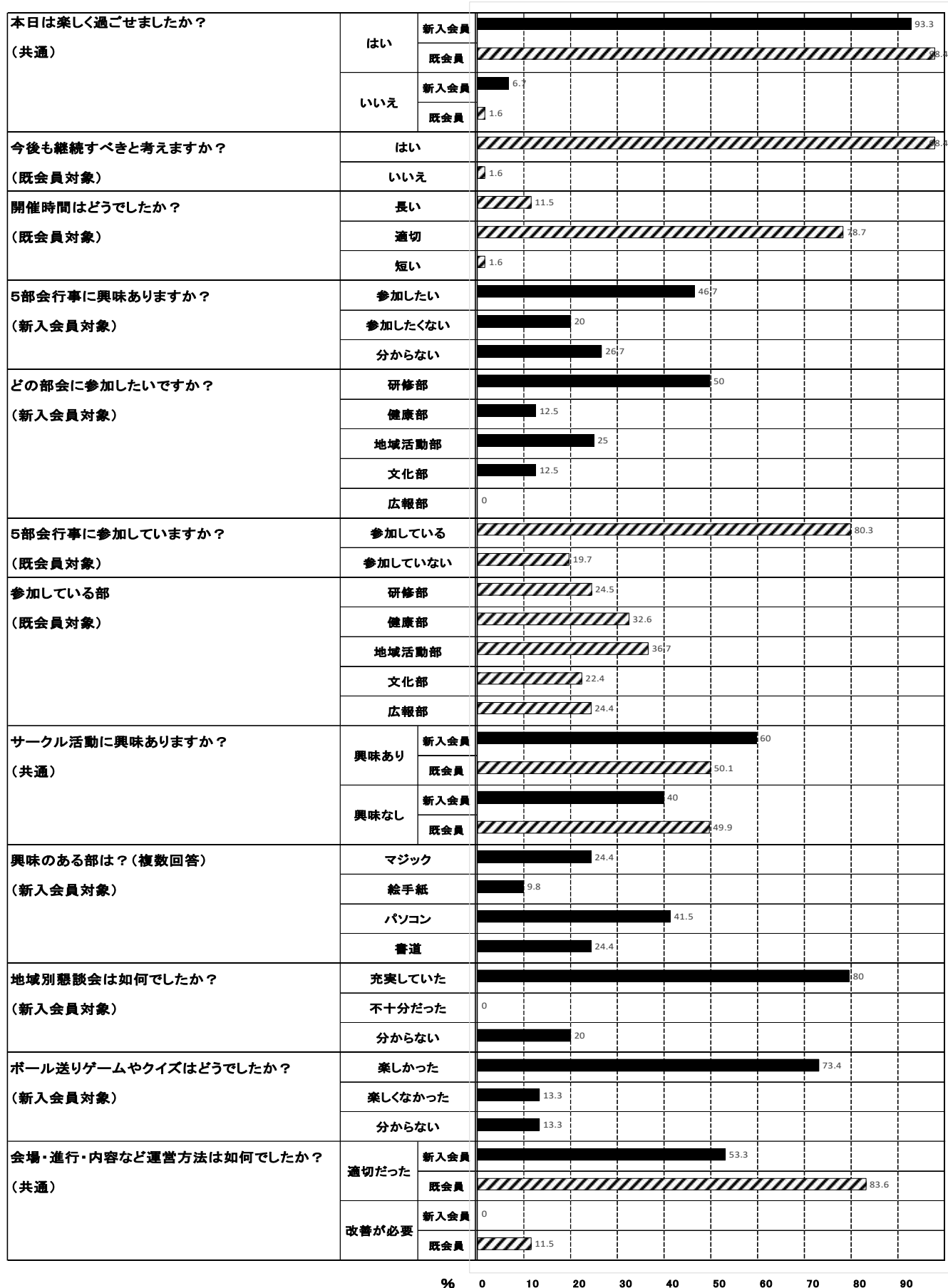
4) アンケート集計結果（グラフを参照してください） 回収率 74.5%（昨年 78.5%）

- ①アンケート回収率が低下したが、「アンケート記入時間」を設ける等の検討も必要。
- ②今回の行事は「開催時間も適切」「楽しく過ごせた」「今後も継続を」と、概ね好評だった。
- ③5部会行事は新入会員46.7%に参加意欲有り。26.7%の分からない新入会員に積極的に参加の呼び掛けが必要。
- ④サークル活動は「興味ある」が52.6%。パソコン、マジック、書道に関心が高い。
- ⑤地域懇談会は各副支部長の創意・工夫で新入会員の80.0%と高く評価。
- ⑥ゲーム、クイズは73.4%が楽しかったと評価。
- ⑦運営方法は77.6%が「適切だった」と評価、改善を求めるが7件あった。



瀬田地域懇談会

38 期新入会員歓迎会&レイカ大津の集いアンケート結果



第 16 回「生涯学習フェスティバル」に参加して

レイカ大津支部の施策にも合致する“子供から大人まで、全ての市民がまなぶことの楽しさ・大切さ”を感じ、発揮してもらおう「第 16 回生涯学習フェスティバル」が 9 月 23 日、大津市皇子が丘公園体育館で 32 団体がブースを設け開催され、当支部は支部長はじめ多くの会員も激励に来場するなど今年も支部挙げて参加致しました。当支部の発表演目は毎年好評のマジックと紙芝居で、マジックサークルは 8 人、紙芝居は地文卒の有志 6 名の方々に、日頃研鑽されたパフォーマンスを遺憾なく発揮されました。

残念だったのは市教委の調整不足で、大津市内 37 校の小学校中 28 校の運動会が同日開催となってしまう、小学生が主体の来場者が激減し、公表数 2,000 名（前年 2,800 名）と今一つ盛り上がり欠けた感は否めませんでした。それでも、楽しみ喜んで貰おうと熱演する気持ちは、食い入るように見つめる小さな子供達に十分伝わったのではないかと思います。おかげで、当支部手製の景品も全て捌けてしまいました。

来年からは「文化部」主体の運営となりますが、当行事の意義を理解し一層総力挙げて取り組んで行くべきだと感じました。お忙しい中出演して頂きました皆様、ありがとうございました。

記）事務局 大坪 賢一



マジックと紙芝居のパフォーマンス



第 10 回 地域活動事例発表会

平成 29 年 11 月 6 日近江八幡市の「ひまわり館」にて第 10 回地域活動事例発表会が開催されました。当日は来賓として、近江八幡市長の富士谷様、近江八幡市社会福祉協議会会長の寫本様、滋賀県社会福祉協議会から 2 名の方にお越しいただきました。参加者数は 191 名（在校生・卒業生 19 名含む）と昨年より 32 名増という大勢の方に参加いただき、9 つの支部から地域活動の様々な事例をお聞きすることが出来ました。どの支部も地道に熱心に継続して活動されていることに感動いたしました。

大津支部からは山本和男さん(25 期・園芸)、荒木博美さん(28 期・生活)が「マジックサークル出前活動」について発表されました。楽しいマジックの実演もして頂き会場を盛り上げて下さいました。また、大津からは遠いところを 17 名の方に参加して頂きました。

記) 同窓会本部研修部長 福井かおる



ティッシュから何かが・・・



山本さんが代表のマジックサークルは 10 年前から活動され、現在は会員 10 名で、出前活動を昨年から 22 ヶ月の間で 57 回と大活躍です。子供たちの真剣なまなざしと一心不乱に追及する様子を眺め、実演冥利につきるとお話しされていました。

「におの浜ふれあいまつり」に参加して

大塚 庸行（25期 陶芸・打出）

9月24日(日)におの浜ふれあいスポーツセンターで「第2回におの浜ふれあいまつり」が開催されました。今回は元プロ選手によるバスケット教室・バレー教室のスポーツ体験コーナー、文化コーナー、ゲームコーナー、そして屋台コーナーが設けられました。

私達は大津市社会福祉協議会からの要請で6名（内在校生1名）が参加し、前年同様ゲームコーナー（射的・輪投げ・ペットボトルボウリング・スーパーボールすくい）を担当しました。前年の経験もあって幼児・学童と楽しいふれあいの時を持ちました。前年も人気だった射的などにも多くの学童が集まりました。

私の担当したスーパーボールすくいでは、幼児が多く、若い両親が自分の子供たちが、うまく掬えたらほめ言葉をかけたり、熱心にゲームに集中している姿をスマホに撮ったりの微笑ましい姿を拝見しました。この日は若いスタッフや子供たちと触れ合えとても楽しい時間を過ごせました。午後からは、東レアローズ、レイクスターズの元プロ選手もこられ、スポーツ体験コーナーも予定されていました。しかし私達は午前の部で会場を後にしました。



輪投げ

射的



[新入会員投稿]

無 題

野上 修 (38 期 園芸・石山南郷)

何年か前の新聞記事に『高齢者になれば「キョウイク」と「キョウヨウ」が大切である』というものがありました。

読んでみると『高齢者になれば「今日 行く所がある」や「今日 用事がある」などと、家に閉じこもらず、人や社会と積極的に交流することが健康で元気に過ごす為に大切である』との内容でした。

当時私は会社勤めをしており記事の内容にはあまりピンとこなかったのですが退職して2年が過ぎた今「キョウイク」と「キョウヨウ」の大切さを身に染みて感じています。

今回、レイカディア大学同窓会大津支部に入会し、支部の行事や活動に積極的に参加することで「キョウイク」と「キョウヨウ」を身に着けたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

編集部注)「キョウイク」と「キョウヨウ」については、本誌58号9頁「認知症ってどんな病気」の記事も参照。

レイカディア大学の2年間を終えて

河合 勲 (38 期・地文・日吉)

私が現役生活を終えてレイカディア大学に入学したきっかけは、妻のすすめによるものでした。あまり予備知識を持たずに、軽い気持ちで入学しました。そのため最初は戸惑うことばかりで、はたして2年間続くのだろうか・・・と、何度も思いましたが、今振り返ってみると、結構充実した学生生活を送れたと思っています。

さて、学生生活を振り返ってみると、必修講座は、おおむね勉強になるものであったと思っていますが、ただ、もっと若い頃に受けていたら、すごく参考になったのに何をいまさら、と思う講座も多々ありました。学生生活の中心はやはり選択講座でした。選択講座は、初めの1年余りは、彦根学・民俗学・近江の文学・水源を訪ねての講座であり、座学よりもフィールドワークが多く、とても充実したものがあつたし、多くのことを学ぶことができました。各講座の最後は、それぞれが発表するという難行が待っていましたが……。1年生の大学祭に向けては地域の道標を5つのグループに分かれて調べました。これらの活動を通じてお互いの親密度が大いに深まりました。この活動の延長線上で、課題学習に取り組みました。これも5つのグループに分かれて学習しました。私たちのグループは「琵琶湖をとりまく地震被害に学ぶ」というテーマで、琵琶湖を中心に地震に関係する地質や歴史を学ぶとともに、過去に地震被害が起こった現場を訪ねてみました。今まで全くといっていいほど関心がなかったテーマだったので、興味深くまた大いに勉強になりました。2年生の選択講座での紙芝居と事業計画の講座は、その趣旨がよく理解できないものでしたが、今までにない経験をしたという意味で、結果的に得るものがあつたと思います。

講座はもちろんですが、各講座が終わる度の先生との飲み会や花見の会などの会は欠かさず出席し、仲間との親睦を深めることができました。このような仲間と出会え、一緒に活動できたことが、一番の収穫であつたと思います。卒業後も卒業旅行やハイキング、飲み会などを楽しんでいます。卒業後、同窓会に入らせていただき地域ミーティングにも参加させていただき感謝しています。地域活動も、在学中何度も言われたとおり、無理をせず、自分が楽しみ、長続きするように少しずつ参加したいと思っています。よろしくお願いします。

リタイア後雑感

片山 博敏 (38 期 陶芸・田上)

サラリーマン生活をリタイアして8年ほどになりますが、リタイア後は「よし、今からは好きな事をやるぞ」という事でまずは、前から思っていた四国88か所を歩いて踏破する事、4回に分けて実行し、実質約42日で終える事が出来ました。平均歩行距離27km/日、おかげで四国のどこどこと言えば、スッとその地が浮かびます。

さてその次何をやるかという事で、せっかく京都の近くに住んでいるのだから、京都の名所旧跡を歩いて見て回ろうと思い、観光案内所で京都歩きマップを入手し取り組みました。こちらの方は日帰りではどここのエリアを廻ろうかという事で、エリア毎トータル40日ぐらいで、だいたいこの所は行ってきました。そして京都検定2級を受験、3年続けて不合格・・・結構難しい。

そうこうするうち自治会の仕事をやらざるを得なくなり、1年経過、意外と面白いのもう1年やろうかという事で・・・。それと並行して今まで多少戸惑っていたレイ大への入学を一念発起して実行、今年9月無事卒業する事が出来ました。これら2つの活動を通じて良い出会いが沢山ありましたが、特にレイ大での講師の先生方、助手の先生方、同じ陶芸を趣味とする仲間達との出会いが貴重な経験となりました。

人生80年と考えればあと10年半弱ですが、これらの経験を生かし、微力ではありますが世のため、人の為のお手伝いをすべきかな、と思っている今日この頃です。諸先輩方ご指導よろしくお願い致します。



無 題

河村 良一 (38 期 園芸・瀬田月輪)

38期園芸を卒業しました。このクラスは25名で入学から卒業まで一人の脱落もなく、皆さん頑張りお陰で実に仲の良いメンバーに恵まれました。特に課題学習で椎茸栽培を実行し、そのメンバーは10名。このメンバーで椎茸栽培をされている各所にヒアリングし、自分らで原木伐採、植菌、楢木保管をやってきました。都度懇親会で椎茸を食し、楽しい時間を過ごしました。この原木からの椎茸収穫を願い、時々天地返しをしながら楽しみを先送りしています。

これに加えて各人は趣味の世界に入ったり、大学で習得した技術を活用する等々の道を歩んでいます。私自身はゴルフ、テニス、卓球、バトミントンと体を動かす趣味に高じています。レイカディアでは卓球部長をやっていたので、現在もOB交えて練習会を実施しています。ほとんど毎日何某かのスポーツをやり多忙な毎日を送っていましたが、大津支部に入会し、健康部、パソコン同好会にも加入しました。どこまで継続できるか分かりませんが、先輩のご指導を仰ぎながら精一杯対応したいと考えています。ただサポート隊にも入隊し、園芸クラブ、地域活動の二足の草鞋を履いているし、出身地の北九州には施設に入っている母の看病もあるので、どこまでボランティア活動がやれるのか自信がありません。

私のモットーは苦しいときは自分の堰をより高くする事でしたので、何とか食らいついていこうと思っています。新たな仲間作り目指して頑張る予定ですので宜しくお願いいたします。

レイカディア大学卒業の先は？

新藤 和義（38 期 地文・膳所）

レイカディア大学には勤務していた会社の先輩の勧めで入学した。選択講座は消去法で地域文化学科と定め、2年の間、様々な知識と手法を習得し、貴重な経験を積んだが、一番大きな宝物は一緒に学んだ同級の仲間である。

9月にレイカディア大学を卒業してとりあえず充電することを決め、その間になにを始めようかと**考えては**、大きく一步を踏み出さずにいるうち、速くも3ヶ月が過ぎ去った。同級生の中には活発に動いている人もいたので、彼らを横眼で眺めては内心焦るところもある。考えてばかりではどうにもならないので、やっと動き出すこととした。

卒業に際して、①体を動かすこと、②頭を動かすこと、③心を動かすことのそれぞれを2つは実践したいと同級生の前で宣言した。どうせやるなら中途半端は嫌なので何をするか簡単には決まらない。そこであちこちの活動を見学させて頂いた。有り難いことに、どこでも快く迎えて下さり感謝している。私よりもはるかに年上の先輩方が頑張っていच्छやることにととても励まされた。

体を動かすことでは、入学前からやっていた大津市近辺の低山登山と家庭菜園に加えて地域のグラウンド・ゴルフクラブに入会を決めた。頭を動かすことでは英会話クラスと料理教室に参加した。残るは心を動かすこと。映画・美術・音楽を楽しむ感動するのは一人でもできる。ボランティア活動は小学校の図書整理を在学中から続けさせていただいている。しかし、多くの人と関わり合いながら感動を共有できる活動を追い追い加えていこうと、情報収集に努めている今日この頃である。



滋賀・レイカディア大学の思い出

首藤 優克（38 期 地文・平野）

大津に来てから7年が過ぎようとしています。最初の3年間は孫の幼稚園の送り迎えでした。大津に来たのは娘家族との同居で。理由の一つは私の病気（胆のうがん）でした。幼稚園への往復（約50分）が体力向上に役立ったと思います。又、月に一度程大津をはじめ坂本、長浜、彦根、近江八幡等10か所以上散策し滋賀の魅力にはまり、もっと知りたいと思った時期にレイカディア大学の募集を知り早速「地域文化学科」に応募し入学しました。

サラリーマン時代は同年代の人達と同じく御多分に漏れず会社人間でした。毎日9～24時、25時まで仕事(?)をして週末は寝だめの日々でした。

レイカディア大学の授業で滋賀の多くの所に行って益々滋賀の良さを知った事は素晴らしい時間でした。又多種多様な職種・経歴の仲間たちとのグループワーク、会合、クラブ活動等々楽しい2年間の日々、時間でした。

卒業後も仲間と月一回のウォーキング、年数回の同窓会が今から楽しみです。卒業後から大津で「おやじのたまり場」と言うサークルに入り街道案内ボランティアで頑張ってます。

無題

保田 修（38期 園芸・瀬田月輪）

趣味は園芸（花・野菜栽培）のほか、山歩きや自然観察、テニス、水泳などをしています。先日立山から黒部ダムまで歩きました。以下の写真はその時に撮りました。正月に比良山、7月に義理の息子と夏山、そして秋の紅葉の3つの山歩きをほぼ1年通してます。ただ、先週テニス中に転んで肩を脱臼して、今日から入院・手術。しばらく動けません。大津の同窓会は毎回、火曜日開催が多いようで、まだ参加出来ていませんが、これからよろしくお願いします。



立山～黒部ダム

(2017年10月7～9日)

[部会だより]

「健康部」

～たのしく なかよく 元気よく！～

<第2回グラウンド・ゴルフ大会報告 >

栗津 義 (33 期 園芸・田上)

9月22日(金)本年度第2回のグラウンドゴルフ大会がびわこ文化公園多目的広場で開催されました。スポーツの秋で青空のもと『楽しく・なかよく・元気よく』プレーすることを期待して43名の多くの方が参加されました。しかし、生憎の開始直前から小雨が降りだして棄権される方もおられ37名で2コース1ラウンド、16ホールに短縮して実施されました。天候不良で悪戦苦闘される中でアンダーパーは5名でしたが、見事7名の方がホールインワンをされました。

私は今回で3回目の大会参加ですが、各地区・地域から21期～37期の各学科卒業と幅広く、80歳代や女性の方も多く参加されており、今更ながらグラウンドゴルフが多くの皆さんに愛好されていることを実感します。みなさんのハッスルプレーに励まされ、和気あいあいと楽しくプレーできたことは何よりです。

滋賀県は平均寿命、健康寿命ともに全国1位とのことですが、私達シニアがスポーツに親しみ健康づくりに取り組み地域に貢献できればうれしいことだと思います。



お詫び

第2回ディスコン大会 10月23日(月) 台風21号の為に中止いたしました

◎今後の活動計画(多数のご参加をお待ちしています)

第4回グラウンドゴルフ大会 1月26日(金) 9時30分 矢橋帰帆島グラウンドゴルフ場

第3回ディスコン大会 2月20日(火) 13時 瀬田公民館3F 大会議室

研修部合同 安土を巡る歴史探訪ハイキング 3月29日(木) 詳細は15頁研修部の記事参照

第2回研修部事業

「桂塩鯛 独演会落語鑑賞」

小野 英明 (31 期 スポレク・皇子山)

平成 29 年度研修部第 2 回行事として、9 月 24 日(日) 大津市伝統芸能会館において、桂塩鯛独演会を鑑賞することを企画し、期待に胸を弾ませながら会場入りをしました。開場 13 時 30 分、開演 14 時、正面指定席 3,000 円の設定で 17 名が集まって下さいました。

演目は、桂塩鯛の「軒付け」、「野崎参り」、桂紅雀の「湯屋番」、桂二葉の「開口一番」でありました。二葉女史の元気な高音、紅雀の中堅らしい元気潑刺、塩鯛の古典落語「野崎参り」は圧巻でした。さすがに噺のプロは違うと感嘆した次第です。

ある会員は癖になりそうと言っていました。ちなみに同会館の友の会に入会し、落語、能、狂言を鑑賞するのも素敵な趣味だと思いますよ。



「研修部・健康部合同企画」

『彦根藩ゆかりの地と城下めぐり』

恒例の秋の歴史探訪ハイキングとして、大河ドラマ『女城主井伊直虎』に関連する彦根を探索することになりました。数日前まで、雨模様という中で実施することとなっていました。お陰様で曇りのち晴れという天気になりました。10 時に彦根駅改札口集まった 21 名の参加者とともに、駅前にある井伊直正公像を前で本日のテーマ並びに一連の井伊家の話をして出発することになりました。

まずは井伊家の菩提寺である清涼寺に行きました。島左近の邸宅跡に建立された寺院で、そこにはタブの古木があり年月を感じさせられるものでありました。静寂の中 35 万石の威厳を感じる禅寺でありました。歴代の藩主の墓や関ヶ原の戦いで死亡した藩士らが眠るにふさわしい寺でもありました。

紅葉の真ただ中の龍潭寺に入り、二種の庭園[枯山水・池泉式]・許六の襖絵を見ることが出来ました。

「散残る 紅葉は殊に いとはしき 秋の名残は こればかりぞと」

そのあと少し山を登り大洞弁財天に行き、4 代藩主直興がつくった権現造の優美な本堂、また楼門が額縁のようになった彦根城を眺めることが出来ました。そこからメタセコイヤの黄金色になった城北公園に行き昼食をとりました。その後は改修中の楽々園に、13 代藩主井伊直弼の青春時代を過ごした埋木舎に行きました。

「世の中を よそに見つつも 埋れ木の 埋もれておらむ 心なき身は」

直弼が15年間過ごしたところで、彼の心根が培われた場所に相応しい簡素で素朴な庵でした。
ここを出た後、彦根城や城下町を散策する人と別れて帰路につきました。



清涼寺



龍潭寺



大洞弁財天



◎今後の活動計画

- ★ 1月18日(木) 琵琶湖博物館の講演と見学 10時15分集合(10時30分～14時)
「琵琶湖に固有な魚たちの歴史と現状」
講師 田畑諒一氏による講演と館内見学 (申込みは締切りました)
- ★ 3月29日(木) 安土を巡る歴史探訪ハイキング
10時頃に JR 安土駅に集合(詳細は後日連絡します)
安土城考古博物館・信長の館⇒安土城址⇒セミナリオ趾

レイカ大津秋季市民陶芸体験講座の開催

去る10月20日（金）大津市生涯学習センターで、開催しました。参加者20人・講師（支部同窓会員）12人の下、一時は開催も危ぶまれましたが皆さんの御協力のおかげで開催でき、参加いただいた市民の方々にも大変喜ばれ、無事終了致しました。ここに紙面をお借りして、講師の方々に厚く御礼申し上げます。有難う御座いました。



平成30年滋賀県レイカディア大学大津支部作品展 の開催（ご案内）

大津支部作品展を平成30年4月6日（金）～8日（日）に開催。奮ってご応募をお願いします。趣旨・目的は支部活動のより一層の活発化を目指し、又日頃の会員の活動等を作品展を通じて地域あるいは会場を訪れた人々にアピールし、レイカディア大学と同窓会に対する理解をより一層深めて貰います。出展は絵画・工芸・文芸・園芸・写真等です。締切り：3月20日。詳しくは



写真は昨年の様様

◎今後の活動予定

3月23日（金）9時30～16時 春季市民陶芸体験講座（大津市生涯学習センター美術工芸室）
募集人員：24名、参加費：1,000円、申込み締切：2月20日（火）、申込先：544-0537 棚橋

「地域活動部」 ～無理しない！ 出来る時に、出来ることを、出来る範囲で～！

《活動報告》

大津祭に延べ 75 名参加

藤田 順一（37 期 園芸・志賀）

琵琶湖の西南に位置する大津市で、湖国三大祭のひとつ、国指定重要無形民俗文化財の『大津祭』が行われています。京都祇園祭の風情を色濃く継承した祭礼。現在 13 基ある曳山はいずれも江戸時代に制作されたもので、各曳山には「からくり人形」が乗っているのが特徴です。祭礼 1 週間前に組み立て、本祭(今年は 10 月 8 日)の翌日に解体されています。

(歴史と由来)

大津祭は天孫神社の祭礼で、今から 400 年程度前の江戸時代初め、鍛冶屋町の塩売治兵衛が狸の面をかぶって踊ったのが始まりとされております。

(行事)

毎年 9 月 16 日に「鬺取り式」に始まり、町内ではその日の夜から囃子の稽古を開始して、本祭一週間前の日曜日に「山建」、本祭の前日に「宵宮」、そして体育の日の前日に「本祭」を迎えます。

今年は、天孫神社の神輿を氏子会等の資金提供により修理が終わり、本祭で 56 年ぶりに神輿担ぎも行われました。

レイカディア大学同窓会大津支部は在校生・サポート隊を含め、山建曳き初め、宵宮、本祭に 49 名、延 75 名が参加しました。曳山については、今年は神功皇后山と猩々山の 2 山を曳きました。

今年の大津祭りに、各方面から 500 名程度のボランティアが参加した中で、75 名が観光案内、交通整理、昼食会場、曳き手等に参加したことは大きな貢献であったと思います。

参加された皆様大変にご苦労様でした。



神功皇后山 レイカ大津会員



猩々山 レイカ在校生・サポート隊



神功皇后山 出発前の乾杯

《その他の活動報告》

1) 瀬田川クリーン作戦

地域活動部が、今回初めて取り組みました活動で、応募者数 18 名でしたが、10 月 22 日（日）台風 21 号の影響により中止になりました。残念でした。来年に期待しましょう！

2) 「大津まちなかスッキリ士隊」の講習会

昨年に引き続き、今年も 10 月 24 日「新入会員歓迎会&大津の集い」の終了後に同会場内の会議室で、新入会員対象として、大津市まちづくり計画課より来て頂き講習会を実施しました。参加者は 16 名でした。これからの活動をよろしくお願いします。

今年 9 月の活動の様様



3) ボランティア保険加入申込

同じく、「新入会員歓迎会&大津の集い」会場に於いて、新入会員のボランティア保険加入申込を受付しましたところ 19 名の申込を受付いたしました。当日終了後に大津市社会福祉協議会（ボランティアセンター）に行き、加入手続きを行いました。

また、来年度の更新手続きを来年 2 月に行います。更に新規加入者があれば申込を受け付けますので地域活動部まで連絡下さい。

《大津湖辺のヨシ刈の案内》

★市民ヨシ刈

日時：平成 30 年 1 月 28 日（日） 9 時～10 時 30 分頃まで（少雨決行）

集合受付 8 時 50 分まで

場所：大津市雄琴六丁目地先湖岸（アクティバ琵琶前湖岸）

申込み締切り：1 月 4 日（木）

★下阪本ヨシ刈

日時：平成 30 年 2 月 3 日（土） 9 時～

集合場所：比叡辻自治会館裏側 刈込場所：唐崎公園、坂本城址

◎準備するもの：長靴、汚れてもよい服装。軍手、鎌は主催者で準備。持参も可

◎申込み先：山口玄洞 TEL：545-6156、FAX：545-5350、Eメール：gendou@sepia.ocn.ne.jp

奥田耕治 TEL&FAX：573-5462 Eメール：k.j.biwa.jp@zd.ztv.ne.jp

＜参加希望箇所と氏名、地区名、連絡先（TEL）を明示下さい＞



写真は今年の市民ヨシ刈の光景

小学校応援活動表 平成 29 年度 4-11 月分

地域	応援項目	活動小学校名	校数	参加者数	回数	摘 要	
						内在校生	内協力者
比叡	剪定・同補助	小松、木戸、小野、真野、真野北 堅田、仰木の里、仰木の里東 雄琴、日吉台、坂本	11	139	17	5	12
	図 書 管 理	小松、木戸、伊香立、真野北	4	25	5	0	0
	校庭花作り	真野北	1	1	1	0	0
	パソコン授業応援	真野北	1	1	1	0	0
	小 計		12	166	24	5	12
中央	図 書 管 理	逢坂、平野	2	68	13	2	0
	小 計		2	68	13	2	0
石山	剪定・同補助	石山、南郷、青山、大石、南郷(幼)	5	72	8	0	2
	小計		5	72	8	0	2
瀬田	剪定・同補助	瀬田東、瀬田北、瀬田 瀬田(幼)瀬田北(幼)	5	120	9	0	13
	校庭花づくり	瀬田東	1	65	10	9	13
	図 書 管 理	瀬田南	1	64	42	0	12
	縫 製 授 業 応 援	瀬田東	1	56	59	0	13
	行 事 応 援	瀬田北、瀬田	2	25	3	0	0
	小 計		6	330	123	9	51
合 計			25	636	168	16	65

まちなか応援活動表 平成 29 年度 4-11 月分

応援項目	場 所 ・ 内 容	参加者数	回数	摘 要	
				内在校生	内協力者
スッキリ土隊	瀬田地域	31	2		
囲 碁 対 局	コンサルテ瀬田	26	7		4
	カーサ月輪	3	2		
	長等ほたるの家	6	6		
将 棋 対 局	大津老人ホーム	4	4		
瀬田川リバプレ隊	瀬田川左岸京滋バイパス下	13	8		
大 津 祭	山建(曳き初め)	15	1	2	1
	宵宮(宵宮曳き)	14	1	4	
	本祭(巡行)	16	1	6	2
	宵宮お手伝い	9	1		
	本祭お手伝い	21	1	9	
合 計		158	34	21	7



石山地域の小学校庭剪定作業

第2回比叡地域ミーティングの開催

奥田 耕治（33期 園芸・志賀）

10月27日（金）にかねてより計画していた第2回比叡地域ミーティングを実施しました。地域ミーティングとしては初めて大津を離れて長岡京市のサントリー桂ブルワリーというビール工場にて製造工程を見学する研修を兼ね、出来立てのおいしいプレミアムモルツを試飲させていただきました。日頃多くの方が晩酌などで愛飲されているビールは、醸造家の皆さんが素材と製法にこだわり、愛情と熱意をもって作っておられます。その姿に感銘を受け、また、美しい案内係の方の説明を聞きながら美味しく試飲させていただきました。原料の麦芽は中欧のチェコ周辺で産出されるダイヤモンド麦芽を使用して、欧州産のアロマホップを使って香り付けし天然水で仕込むことにより美味しいビールが出来上がるのだとのこと。



サントリーのビール工場（ブルワリー）は全国に4カ所ありますが、いずれも天然水が豊富に湧き出ている場所に立地しているとのことでした。この企画は比叡地域の同窓会員にサントリーのOBの方がおられまして、地域ミーティング実施のためにご尽力をいただきました。私たちの参加者は12名でしたが、他には外国人を含む多くの方たちが見学に来られていましたので、その人気のほどがうかがえます。

すでにいい顔色の方もおられましたが見学後は送迎バスでJR長岡京駅まで送っていただき、場所を移して京都伊勢丹10Fの「柿安・三尺三寸箸」で会食をしながらざっくばらんに情報交換や「集い」の延長戦を楽しみ有意義に過ごしました。

残念ながら私は全くの下戸で試飲はノンアルコールでしたので、文中の美味しくいただいたのは参加者の感想を代弁したことを申し添えておきます。



[わが町の歴史]

坂本の町に住んで

久保 和巳（35期 園芸・日吉）

小学生の頃、石を投げれば「坊主か庭師」がアイテテと反応すると笑い話をしていたと記憶しています。同級生にも坊主と庭師の息子が多数いました。後に大僧正になる同級生が一番好きな食べ物は「スキヤキ」と言っていました。精進料理なんて「クソクラエ」とも言っていたヤンチャ坊主でしたが。坊主も肉が大好きで妻帯も当たり前の世界です？ やはり坂本の町は、都の北の鬼門を守る「比叡山延暦寺・日吉大社」と物流の拠点たる「馬借の町」の両面から、わが町坂本を紹介する必要があると思います。

坂本は、延暦寺・日吉大社の門前町として栄えてきたと歴史書に。僧侶の隠居坊である里坊が数多くあります。天台座主も毎日黒塗りの車で里坊からドライブウェイ経由で比叡山に通っておられます。早朝には修行僧が毎日白装束で回峰している姿が散見されます。坂本に庭師が多いのは寺院・里坊等の庭の手入れが必要だからです。写真①は穴太積みの石垣の里坊です。至る所にあり見飽きる程ですが坂本の魅力の一つです。



写真①

里坊の横を回峰する修行僧が雨の日も風の日も毎日同じ道を比叡山から下り、比叡山に戻る日課を繰り返しておられます。寺の住職に聞くと冬等の難しい時期は避けてスケジュール化していたとの事でしたが。写真②は若い修行僧の回峰中のものです。寺の跡取り息子の中には回峰修行を逃げ出す不届き者も居ると住職が言っていました。比叡山延暦寺の歴史は数多くの書物がありますのでそれを参照願います。



写真②



写真③

写真③は日吉大社の山門です。鳥居の上に屋根が乗っている様に見えます。山王鳥居と言われる独特の山門です。毎年、桜の季節に「山王祭」が開催され賑わいます。最近では若者が少なく神輿の担ぎ手がなく、各町内にはトラックに積んだ神輿が来ます。時代の流れを感じます。写真④は山王神輿と宵宮の写真です。

日吉大社の立地は都の鬼門に当たり、魔除けの象徴として「神猿（まさる）」と呼ばれるサルが祀られ「魔がさる」「何よりも優る」と言われ大切にされています。坂本の人たちはサルが悪さしても脅かしはしますが危害はくわえません。亡父が、我が家の屋根にサルが50匹程居て、畑から取った農作物を食べて居た所を朝日新聞の地方版に記事として掲載されたと自慢していました。余談ですが、サルが去った後には大量の糞が屋根に残り掃除に四苦八苦したそうです。おまけに屋根で足をすべらせ「これが本当のサルスベリ」と笑わせたそうです。



写真④

湖岸に面した下阪本は、三津浜と呼ばれ湖上交通の要衝として栄え、荷揚げされた物資を都に馬の背に寄せ運ぶ「馬借」と言う運送業が栄えました。坂本は門前町であるとともに運送業者が集まる経済都市として発展したと歴史書にあります。今でも馬に関する地名が数多くあり、「松の馬場・日吉馬場・権現馬場・御殿馬場」が現存し、京への輸送道が「うま道」と言われています。写真⑤は、松の馬場を恐らく大正天皇が皇太子時代に忍びで「鶴喜そば」を馬車で食べに来られた時の写真が浄光寺に残されています。寺の住職も確信を持ってない話と言っていました。



写真⑤

思いつくままに坂本の今昔（ほとんど今ですが）を紹介しました。歴史ある町ですので是非、お越してください。京阪坂本駅前の観光案内所にはガイド冊子があり詳しく紹介されています。（一部の写真は借用しました）

レイカディア大学必須講座聴講のお知らせ

卒業生にレイカディア大学の必須講座を聴講出来る機会を作っていますが、本年度は次の内容で予定されています。聴講を希望される方は申込みをお願いします。

- 1、日時 平成 30 年 1 月 26 日（金）13 時～15 時
- 2、実施場所 レイカディア大学 草津校（県立長寿社会福祉センター）大教室
- 3、テーマ 「近江路を歩いた人々～旅日記に見る～」
- 4、講師 前近江地方史研究会会長 江竜 喜之氏
- 5、聴講定員 30 人 （大津支部割り当て 9 名）
- 6、聴講料 無料
- 7、申込み方法 平成 30 年 1 月 10 日（水）までに、地域、氏名、卒期、学科を明記してメールまたは電話にて、福井まで申し込みしてください。
申込みが定員を超えた場合は抽選で決定 します。
電話 090-6519-0342 メール k_f1231@ybb.ne.jp（k と f の間アンダーバーがあります）
- 8、聴講が決定した方へは、福井からメールまたは電話にてご連絡します。



写真は今年の模様



[会員投稿]

「ねんりんピック」へのおさそい

澤島 令子（33 期 地文・北大路）

全国健康福祉祭は「ねんりんピック」とも言われています。私はオリンピックのシニア版と思っています。メジャーなスポーツの他に、ゲートボール、ペタンク、ウォークラリー、俳句、囲碁、将棋、健康マージャンなど 26 種目ですが、「秋田からつながれ！つらなれ！長寿の輪」のスローガンが示すように、何より人と人との交流を目的としています。

今年は、9 月 9 日～12 日に秋田で開かれ、146 名の滋賀県選手が秋田を訪れました。8 月 21 日レイ大の大教室で結団式、9 月 8 日そろいのユニホームで社協の事務局員の引率のもと、京都、米原から新幹線乗車、東京経由で秋田へと向かいました。9 日おもてなし広場で試食、試飲、お土産コーナーを楽しんだあと、総合開会式には全国から 1 万 3 千人がそれぞれ自慢のユニホーム姿で入場行進をしました。その後は、観客席から秋田の四季を表すパフォーマンスを楽しみました。中でも「竿灯」は高さが 10m 近くもあり、風に煽られて大変すごい迫力でした。そのあと、各種目別に競技場近くのホテルに移動しました。

10、11 日と競技があり、私は水泳に参加しました。水泳競技は待つ時間は長いのに、スタート台から飛び込んだら、25m 泳で 20 秒前後、50m 泳では 50 秒くらいで勝負がついてしまいます。ですから、その待ち時間にいろいろな県の人とおしゃべり、いえ、交流をしました。11 日もう一泊する人もいましたが、私はその日の内に帰途につきました。「SHIGA」のユニホームを着ているせいか、秋田駅ですぐそこにあった「みどりの窓口」の場所も親切に教えてもらいました。切符を買うのに手間取り、終わって横にいた人に声をかけられ、「駅弁を・・・」の私のつぶやきに、安い店を教えてくれ、割引券まで使わせてもらい秋田名物の「比内鶏弁当」をゲットしました。改札口では私の荷物を見て（秋田県からたくさんのお土産をもらったので）、「あのエレベーターが乗車位置に近いですよ」と駅員さん。ホームに降りたら地元の人が「遠く滋賀から来てくれたのですか」。秋田新幹線に乗れば、仙台から参加の水泳選手が隣席に、水泳の話で盛り上がりました。東京駅では 15 分の乗り換えも教えてもらって、スムーズに「のぞみ」に乗り込もうとしたら「滋賀まで帰るのですか」と、愛知県の人に声をかけられたりとたくさんの人と交流ができました。

来年は富山、その次は和歌山です。たくさんの人々との交流と、運が良ければメダル（金、銀、銅）も手にできます！

ぜひ、あなたも参加してみませんか！！

*編集部注：澤島さんは 50m 泳で銀メダルを獲得されました。

おめでとうございます。

総選挙後の政治を思う

松岡 克実 (32 期 健レク・北大路)

総選挙が終わり、「自民」の圧勝で政局は元に戻っただけの感が強い。「国難突破選挙」とはよく出来た旗印で「北朝鮮のお陰で勝たせてもらった」と、元首相がポロリと本音を漏らしたのはお愛嬌？ 与党のパートナー「公明」は野党の野合を難ずるだけで、議席を減らし、肝を冷やした。

一方、野党は小池新党に反安倍で野党の糾合を期待したが「排除の論理」、「踏み絵」の問題で脆くも瓦解。「希望」、「維新」も公明党同様に自民党の補完勢力とみなされ、勢力は大きく後退し、党の存続も不透明感が漂う。唯一「立憲民主」が議席を伸ばしたが、野党間の議席移動に終わっただけ。「共産」は野党協力に失敗し、中途半端な選挙戦となった。壊滅的「民進」は参院主体の政党の一つ。

今後の政治課題は何で、どう動いていくのか？ 幾つか見ていく。

まずは、安倍政権が後、4 年ほど続くので、憲法改正は行われるのは間違いないところである。9 条に自衛隊を明記することなどを公約に掲げているが、安倍政権を支えている集団の「日本会議」が主導する「美しい日本の憲法をつくる国民の会」が目指す戦前回帰の旧大日本国憲法を慮った、自民党憲法草案の位置づけ・扱いをどうするのかには一切触れていない。

選挙後、俄かに自民党が言い出した委員会の質問持ち時間の問題。そもそも、委員会で審議される法案などは政府が作成段階で与党の意見・要望を聞き、反映したものであり、内容も与党委員は熟知しているものである。従って、初めて法案として目にする野党に十分な質問時間を与え、審議することを旨としている。ところが、新人議員に質問時間を与え、経験を積ますためと称し、議席数に応じた時間配分を主張している。この裏には、森友・加計問題で首相が何度も何度も追及されるのを逃げるためであると睨んでいるが如何であろうか？ 「今まで以上に謙虚な姿勢で真摯な政権運営に努める」と、選挙後に首相が誓ったばかりである！ 国民への単なるリップ・サービス。この首相の言葉は軽い。数の力で何もかも押し切って行く、まさか？ と思いたい。

また、消費税 2%増税の使途は保育・教育の無償化のために使うという使途変更。これでは民主党との政権交代選挙での約束を 1 度ならず 2 度破ることになり、国民を馬鹿にしたものである。5 年経ってもアベノミクスが思う通りにいかなくて、税収が伸びないことを棚に上げて、国民の目先をごまかすバラマキでやり過ごし、国の借金を先送りする政策を進める(我々世代では終わることはない 1071 兆円。国民一人当たり 850 万円)。いつからプライマリーバランスの均衡(*)に戻し、どのように国の借金を減らして行くのか、ロードマップを示すことは長期政権において重い責任である。

最後に、企業の収益と労働者の賃金。企業の内部留保は 400 兆円超といわれる。一方、労働者の実質賃金は 6 年振りに 0.4%増えたとはいえ、長年ほぼ横這いである。正社員の有効求人倍率は 1 倍を超えている。しかし、企業の業績は大企業ほど経済政策の恩恵を受け、中小企業にはそれは届いていない。春闘で来年も今春同様に数%の賃上げが行われる様であるが、経団連などの大手企業だけであって、それ以外の企業の労働者、ましてや非正規の方々にはその恩恵も及ばない。宣伝効果の外面だけでなく、隅々の方々にも中身と人情の伴う賃上げの恵みを賜りたいものである。

21 世紀に名を遺す宰相になるには、安倍首相はまだまだやるべきこと、解決すべき課題は多い。
*国の財政収支で、国債などの借入金を除いた税収などによる歳入から、国債の元利払い費など、過去の借入金返済に要する経費を除いた歳出を引いたもののこと。この収支が均衡するとは、現世代の国の財源に対する負担と、国の支出による受益とが等しくなることを意味する。財政安定化の指標となる。(デジタル大辞泉)

「愛」という言葉を遺して

堀口 唯子（26 期 生活・日吉）

平成 29 年も振り返ればあっという間の 1 年でした。私の身の回りでも社会でも、喜怒哀楽にまつわるニュースが目まぐるしく起こり、余計に早く時が進んだように感じます。思わず笑みがこぼれるような出来事は、こちらまで幸せにしてくれますが、社会を揺るがすような事件・事故の報道には、思わず目を背けたくなります。

今年も、印象に残る著名人の方が鬼籍に入られました。6 月 22 日歌舞伎俳優である市川海老蔵さんの奥様、麻央さんが亡くなったことは本当に残念な事でした。小さなお子さんを残して、またあまりにも早い旅立ちであり、ご家族のみならずご本人にとっても大変無念であったことでしょう。海老蔵さんは舞台出演後の稽古中に、麻央さんのお母様から容体が急変したとの連絡を受け急いで帰宅、息を引き取る瞬間に立ち会われたとのこと。息を引き取る瞬間、「愛してる」と言って旅立たれたことは、のちのニュースで知りましたが、献身的な看病と、育児や家事に奮闘した夫への、心からの言葉だったのでしょうか。麻央さんは闘病中にブログを始め、ネットを通じて病で苦しんでいる人たちと悲しみや喜びを分かち合っていました。自分の病気だけでも大変なのに、他人の心配をしている妻を見て、海老蔵さんはすごい人だ、と思ったそうです。そして闘病している妻から、「愛」を教わったとも言われています。

さて皆さんもよくご存知と思いますが、7 月 17 日には医師の日野原重明さんが 105 歳で亡くなりました。先見の明をお持ちであったのか、早い時期から生活習慣病検診や終末期医療充実などに取り組み、100 歳を超えても生涯現役の医師として休むことなく患者さんを治療して励まし、ご活躍されておられました。高齢になっても活動的に生きるべき、と提唱されていましたから、ご自身もまさに実践されていたのでしょうか。長年尊敬し、お付き合いされておられた瀬戸内寂聴さんのお話ですが、「先生はいつもニコニコして、とてもお優しく、講演にも一人で来られて、沢山の荷物も身体のためだからと自分で持たれていました。車に乗れば教え子の論文を一心不乱に読み、1 分も無駄にされなかった。日野原先生は人間という感じがせず、死なない人と思っていたのですがやはり亡くなるのですね。人の倍ほど働いて常に楽しそうで力一杯生きておられた、見習うべき生き方でした」。日野原先生は 90 歳を超えても 1 日 18 時間、週 7 日働いておられるという、すごいエネルギーを持った方です。もちろんお身体も健康であったのですが、とにかく人生は貢献だと信じておられ、そのため他者を助けることや、早起きして他の人のために何か素晴らしいことをしたいという意欲をお持ちであったそうです。相手を思いやる精神をお持ちのお優しい先生でありました。それこそ「愛」ではありませんか。

嘆かわしいニュースが世間を騒がせる世の中になりました。お二人が遺された、他人を思いやる「愛」という言葉の意味を、皆でもう一度考えてみたいと思う今日この頃です。

お二人のご冥福をお祈りします。

手探りで井伊谷へ

山下 克己 (23 期 文芸・平野)

五月の爽やかな朝日を浴びて歴史サークルの一行は、膳所市民センター前を出発する。引率責任者としての私は、バスでの旅の無事を祈るばかりであった。

今年度最初の行事を何にしようかと世話人一同考えたすえ、私の提案で浜松の「井伊谷」へ行くことになった。少し遠すぎ、高齢の会員が日帰りするのはちょっと無理のような気がした。しかし今年は NHK 大河ドラマ(以下ドラマという)で今評判の「おんな城主直虎」の舞台であることに惹かれ、皆の関心が高かった。しかも「混まない早い時期がよい」ということでこの日となった。

段取りは言い出しっぺで最年長、しかも 88 歳の私が老骨に鞭打ってやらざるを得ない。乗物はいつも頼んでいる A 自工の観光バスを借りればよい。大変なのは下見のため、自家用車で運転する人はいない。と言って新幹線は浜松往復だけでも 16,000 円かかる。従って下見をせずに計画を立てることにした。見学箇所をパソコンで打ち出し、大体の見当をつける。詳細を決めるためまず浜松の市役所へ電話をする。観光協会が扱っているとのこと、また掛け直しやと糸口が掴めた。

そこには無料でのガイドがいた。少々きついが折角行くのだから「井伊谷直虎ウォーク二時間コース」を申し込む。了解の FAX が来てまずは第一段階を突破する。ただ到着時刻と場所はこちらから指示しなければならない。これには得意の勘を働かせて決めたが、その前に昼食をどうするかであった。観光協会が教えてくれた四箇所のなかから三ヶ日の S 茶屋を選んだ。予約をするには人数と料理の種類を告げねばならない。料理は名物の「うな重」にして、概略の人数を伝える。実は出席人数は計画上最も重要で、一定の出席者がないと一人当りの負担が高くなって行事が成り立たなくなる。幸い希望者が 20 名あって目途がついた。観光協会との何度かの電話のやり取りで、見学箇所と所要時間を確定したが、龍潭寺拝観は別に予約を取らねばならない。最後の見学場所になるが、到着時刻は「エイヤ」と決める。すべての計画は電話と勘に依った。

順調に新名神高速を走り出したので、私の作った資料を配り、その中から予備知識として見学箇所を概略説明する。浜名湖が見え出し、三ヶ日 IC で地道に入る。この辺りだろうと探すうち目の前に S 茶屋を見付け、予定の時刻に到着、一安心。S 茶屋は湖に望んで景色も良く、昼食を摂りながら疲れを癒すのに絶好の場所だった。油の乗りきった太めの鰻に目を輝かせながら齧り付き、目的の一つを果たせた気分になる。

打合わせ通り 13 時に井伊谷の地域遺産センターへ着く。「膳所へ行ったことがある」というガイドさんの特別の計らいによりバスで廻ることになり、年寄連中は
大助かり。最初に天白磐座遺跡を訪ねる。手前の渭伊神社はもと龍潭寺の敷地内に
あったもので、井伊家の氏神として信仰された。裏手の丘陵が遺跡で、古墳時代から
平安時代中期にかけて、巨石群を神の依代(磐座)とする祭祀が行われた場所
である。特に大きな二つの岩はしめ縄で結ばれて威厳がある。つぎに井伊家初代の共
保が生まれた田園のなか、白壁に囲まれた伝説の井戸へいく。共保の出生には諸説
あるが、遠江を治めていた藤原共資が実子を「捨て子は育つ」の言い伝えで、
井戸端に捨てた説が最有力だろう。

最後の龍潭寺は彦根の龍潭寺の親寺である。同時に、ドラマに出てくる直虎が出家して「次郎
法師」と名乗った寺院で、住職が南溪和尚だったことなどおおいに興味を抱いた。浜名湖を模し
た本堂前の補陀洛の庭を通り右手庫裡から本堂へ上がる。733 年行基によって開かれた古刹で、
井伊家と宗良親王(後醍醐天皇の第二皇子)の菩提寺である。本堂の奥にある開山堂を通して御
霊屋に参る。井伊家代々の位牌が祀られていた。本堂の裏手へ来ると、ガイドの説明に参拝者が
轟めいている。東海随一の国指定名園で、小堀遠州の作である。池泉式庭園には数多くの石組み
や滝があり、サツキやドウダンツツジの緑が鮮やかに映えている。仁王門前には松岳院跡があり、
直虎が一時母千賀、虎松(後の直政)母子と暮らした処。

帰りは運転手に無理をいって井伊谷城跡を望み、往路とは別ルートの浜松いなさ IC から新東名
高速に乗る。途中二箇所の休憩で銘々土産も充分買って、手探りの旅も無事終わりホッとする。



しゅじきんいげたまんまとい
朱地金井桁紋 纏

会員文芸

俳句

金剛輪寺・名勝庭園吟行（二九期・文芸）

瀬田 大坪石山

参道の千躰地藏紅葉映ゆ

降る雨や血染め紅葉色薄し

比叡 岡田一也

しとみ戸を秘仏に開く紅葉寺

内陣は紅葉明りと隔たれて

瀬田 勝田幸川

護摩堂の屋根に張り付く濡れ紅葉

漆黒のお堂へ映ゆる紅葉かな

石山 久保貞邦

雨音に血染め紅葉の色ませり

観音を守る金山冬紅葉

鵜飼敏彦（二七期・文芸）

相席の暫しの絆おでん酒

湖に摺り足はやき初時雨

勿頸の朋の消息桐一葉

天心も湖心も透ける良夜かな

天領の牧場を包む枯尾花

川柳

梅景 宏（二一期・生活）

徒に 馬令重ねて 無畏徒食

我想う 暖衣飽食 いいのかな

トラレプの 排除論理 百合子真似

棄権して だち（お友達）になろうよ

みんなして

[会員動向]

会員数 大津支部会員数 (12月15日現在) 250名
38期地文 生田 千鶴さん(石山地域・北大路地区)が11月に入会されました。
訃報 堅田地区の藤田 政一様が10月16日に逝去されました。満87歳でした。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

[大津支部事務局からのお知らせ]

1月の執行役員会及び役員会の開催はありません。
2月 2日(金) 執行役員会 生涯学習センター 9時30分～
2月23日(金) 役員会 生涯学習センター 9時30分～
3月 6日(火) 執行役員会 生涯学習センター 9時30分～
3月27日(火) 役員会 生涯学習センター 9時30分～
4月26日(木) 支部総会 レイカディア大学 13時00分～

[広報部からのお知らせ]

会報誌「かけはし」は年4回発行しており、次回は平成30年3月下旬の発行の予定です。
原稿締め切りは2月26日厳守です。投稿の要領は従来の通りです。尚、60号には会員投稿の掲載はありません。内容は支部全体の活動、各部の活動報告と活動予定、各地域の活動を中心に編集します。投稿の要領はパソコンで作成される場合は、用紙はA4、本文の字体や大きさは、MS明朝体・12ポイント、表題の文字の大きさは14～16ポイントと指定しています。

原稿の文字数は1,200文字以内を厳守下さい。

表題の下部に氏名(卒期、学科・地区名)を記入下さい。又、写真などがあれば是非添付して下さい。写真の返却を希望される方は、その旨を写真裏面にご記入下さい。

《原稿送付先》 自筆・ワープロ打ち原稿は郵送またはFAXで
〒520-0052 大津市朝日が丘1丁目15番15号
大塚 庸行 宛 TEL・FAX 077-525-7338
PCメールは 佐瀬 章男 宛 sase@opal.plala.or.jp
松岡 克実 宛 katumatu66@yahoo.co.jp

[編集後記]

本年も国内外とも色々な事がありました。大津支部の活動も小学校応援をはじめ、特に新入会員28名をお迎えしての「レイカ大津の集い」も成功裏に終了されました。関係各位のご努力の賜物です。

何かとバタバタする12月、寒い師走と予報されています。くれぐれも体調に気をつけ、良い1年を締めくくれますように。

編集委員

岩田 和彦(志賀) 西澤 勝(唐崎) 福井 かおる(唐崎) 和田 紀久子(日吉) 大塚 庸行(打出)
住若 富子(打出) 釜淵 佳明(膳所) 松岡 克実(北大路) 脇田 進(石山南郷) 河嶋 文雄(石山南郷)
佐瀬 章男(瀬田北) 中村 健一郎(瀬田月輪) 栗田 昇(瀬田月輪)

レイカディア大学同窓会 大津支部会報 59号(平成29年12月26日発行)

発行責任者 大津支部長 岩田 和彦

編集責任者 広報部会長 大塚 庸行

*投稿・応募・申込み等の個人情報について

レイカディア大学同窓会大津支部宛の投稿・応募・申込み等(電子媒体含む。以下原稿と言う)で得た個人情報は事前説明無く、当該投稿等に関する用途以外に使用せず、適宜、適切に破棄します。投稿内容及び氏名、年齢、生年、地域・地区、卒期・学科名は当会発行媒体に掲載することがあります。